

会 派 代 表 質 問

(通 告 内 容)

令和7年3月

那須塩原市議会定例会議

【質 問 者】

【令和7年2月25日(火)】

- | | | | | | |
|---|--------|---------|-------|----|------|
| 1 | 9:25～ | シン・那須塩原 | | | |
| | | 議席番号 | 7 番 | 森本 | 彰伸議員 |
| 2 | 10:50～ | 志絆の会 | | | |
| | | 議席番号 | 1 9 番 | 鈴木 | 伸彦議員 |
| 3 | 13:00～ | 公明クラブ | | | |
| | | 議席番号 | 6 番 | 田村 | 正宏議員 |
| 4 | 14:25～ | 敬清会 | | | |
| | | 議席番号 | 1 8 番 | 大野 | 恭男議員 |

受付番号	令和7年2月6日
第3号	午前 10時35分受付 午後

令和7年2月6日

那須塩原市議会議長 山 形 紀 弘 様

会派名 シン・那須塩原
議席番号 7 番 森本彰伸

会派代表質問通告書

令和7年3月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。
記

質問事項	質問の内容（詳細に）
1. 令和7年度那須塩原市市政運営方針について	令和7年、那須塩原市は市政誕生20周年を迎えました。1市2町が合併しそれぞれの歴史、文化、環境そして習慣の違いはあるが、それぞれが尊重し合い、少しずつ一体感を醸成し、今日の那須塩原市になっているのだと感じています。 渡辺市長はこれまで、環境政策、東京都市圏や海外へのトップセールス、そして大企業との連携などの分野で大きな活躍をされてきました。市長として、2期目も間もなく中間地点を迎える中、今後の那須塩原市の方向性を決めていく重要な時期に今回の令和7年度那須塩原市市政運営方針が示されたと理解しております。 那須塩原市の市民が、何を求めているのか、どのような市政運営が市民の福祉向上につながるのかがこの市政運営方針には示されるべきであると考えことから、以下の事について考えをお伺いいたします。 (1) 若者や女性に選ばれる地域とは、どういうことかについて (2) 移住促進と地域ブランディングの強化について ①移住先としての魅力とはどのようなことと考えるかについて ②他市と比較した時の本市の優位性はなにかについて

	③現在の本市に足りないことはなにかについて ④現在の転入超過の状況をどのように評価するかについて (3) 那須塩原駅周辺のまちづくりの推進について ①色々なイベントでは、通常的那須塩原駅周辺のあるべき姿がまだ見えてこないことから、現在市長が持つ駅周辺のイメージについて ②那須塩原駅東口の開発について (4) 環境政策と持続可能なまちづくり推進について ①環境政策を進めることで、市民が受けるメリットについて ②サーキュラーエコノミーが市民生活を豊かにする仕組みについて (5) 官民連携事業の推進について ①ネイチャーポジティブでの市内外の企業とのアライアンス（連携協定）について ②カーボンニュートラルでの市内事業所によるゼロカーボンコンソーシアム（共同事業体）の成果について (6) 市民との協働による未来創造について ①市民や、自治会長と懇談会を通して得た意見から、具体的に政策に活かした事項について ②今後、更に市民の声を聞くために行っていく事業があるかについて (7) 持続可能な観光の推進について ①グリーンデスティネーションズの世界の持続可能な観光地TOP100選に選出されたことは観光客の集客につながっているかについて ②スポーツコミッションやスポーツツーリズムには以前から取り組んでいるが、成果をどのように評価しているかについて (8) 教育・子育ての充実について ①これまでのICT教育の成果について
--	--

	②スポーツ施設の役割と重要性について ③スポーツ施設の適正配置の考えについて ④教育・子育ては最も重要な事項であると考えてるが、主要施策の中で、その他の中の項目とした理由について (9) DX推進による市民サービスの向上について ①DX推進の進捗をどう評価しているかについて ②市民はDXの推進をどう評価していると考えてるかについて ③現状の施策の市民の利用状況について (10) 公共施設マネジメントの推進について ①平成29年3月に策定した、施設保有量25%削減の進捗について ②削減する施設の基準について ③公共施設の必要性をどのように考えるかについて (11) 福祉について主要施策の項目がない理由について
--	---

受付番号	令和7年2月10日
第4号	午前 0時00分受付 午後

令和7年2月10日

那須塩原市議会議長 山 形 紀 弘 様

会派名 志絆の会
議席番号 19 番 鈴木 伸 彦

会派代表質問通告書

令和7年3月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。
記

質問事項	質問の内容（詳細に）
1. 令和7年度市政運営方針について	市民の意識は、コロナ禍による影響から野菜やコメの高騰、少子化・高齢化対策、人口の減少による地域経済の縮小などに移っていると考えます。このような中で示された令和7年度の市政運営方針について伺う。 (1) 移住促進と地域ブランディングの強化について ①これまでの成果と目標値などはどのように考えているか (2) 那須塩原市駅周辺のまちづくりの推進について ①多くの人々に愛される場所とはどのようなものか ②シティホールのイメージと取組について (3) 環境政策と持続可能なまちづくりの推進について ①これまでの成果と次年度の目標について (4) 官民連携事業の推進について ①具体的にどの様に取り組むのか (5) 市民との協働による未来創造について ①具体的にどの様に取り組むのか (6) その他着実に取り組んでいくものについて ①持続可能な観光の推進とは具体的にどの様に取り組むのか ②スポーツコミッションの現状と課題及び今後の取組と目標について

害賠償金について	まれるという報告を受けている。すでに立地企業5社に対しては、総額440,307,000円の合意が済んでいる。まだ2区画を残し、これらの合計金額は468,852,000円に達した。原因者に対し、損害賠償を求める必要があると考えることから、市としての取り組み姿勢について伺う。 (1) 石の成分分析の状況について (2) 損害賠償金の回収に係る今後の見込みと方策について
-----------------	--

受付番号	令和7年2月6日
第2号	午前 9時35分受付 午後

令和 7年 2月 6日

那須塩原市議会議長 山 形 紀 弘 様

会派名 公明クラブ
議席番号 6番 田村 正宏

会派代表質問通告書

令和7年3月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。
記

質問事項	質問の内容（詳細に）
1. 「多死社会」到来に伴う「無縁死社会」の深刻化に対する対応について	「多死社会」の到来に伴い、家族や地域とのつながりを持たない「無縁死」が深刻化しています。単身世帯の増加、高齢者の孤立、地域コミュニティの希薄化などが背景にあり、行政の対応が急務だと考えます。尊厳ある最期を迎えるための支援体制の構築が求められることから以下について伺います (1) 本市における引き取り手のない遺体・遺骨の現状と課題について (2) 無縁遺骨の増加に備えた対策について (3) 家族や地域とのつながりを持たないと思われる独居高齢者等に対する終活支援について
2. 生活インフラの現状と時代の変化を見据えた展望について	市民の安全・安心な暮らしを支える重要な基盤である生活インフラは、老朽化や人口減少、気候変動への対応など、時代の変化に伴う課題が顕在化していることから以下について伺います。 (1) 上下水道インフラの現状と直面する課題及び今後の展望について (2) 生活インフラとしての道路網等の現状と直面する課題及び今後の展望について

3. 学校体育館等への空調整備の加速化について	子どもたちの学習・生活の場であるとともに、災害時には避難場所として活用される学校体育館の整備加速化に向け、今般、臨時特例交付金が創設されたことから以下について伺います。 (1) 「空調設備整備臨時特例交付金」の概要について (2) 本市における体育館への空調整備の現状と今後の展望について (3) 経済性に配慮した効果的な断熱・遮熱対策について
--------------------------------	---

受付番号	令和7年2月5日
第1号	午前 2時10分受付 午後

令和 7年 2月 5日

那須塩原市議会議長 山 形 紀 弘 様

会派名 敬 清 会
議席番号 18番 大 野 恭 男

会派代表質問通告書

令和7年3月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。
記

質問事項	質問の内容（詳細に）
1. 令和7年度市政運営方針及び当初予算編成について	「第2次那須塩原市総合計画後期基本計画」が策定され3年目を迎えようとしております。本市の将来像「人がつながり新しい力が湧きあがるまち那須塩原」の実現に向けて限られた予算の中で市政運営を目指していることと思います。また、全国的には少子高齢化、東京一極集中がさらに加速しております。 このような中、「後期基本計画の重点推進テーマ」などに位置付けられた事業に優先的に予算付けし、「住んでいけば生き延びられる」持続可能なまちの実現に向け、各施策に取り組んでいくための、過去最大の予算規模660億円となる令和7年度一般会計当初予算が示されました。 実施計画事業においては、4つの重点推進テーマと追加テーマに関する事業、新規・拡充事業を掲げ優先的に予算付けをして効率的な事務執行を行っていくと思うことから以下の点について伺います。 (1) 那須塩原市の現状と課題をどのように捉えているか伺います。 (2) 重点推進テーマ「ニューノーマル（新たな社会）」に紐付く主要事業や新規事業の内容、それぞれの予算について伺います。

2. 上下水道の耐震化及びマンホール蓋の老朽化対応について	(3) 重点推進テーマ「デジタル・トランスフォーメーション」に紐付く主要事業や新規事業の内容、それぞれの予算について伺います。 (4) 重点推進テーマ「Sustainable Vision」に紐付く主要事業や新規事業の内容、それぞれの予算について伺います。 (5) 重点推進テーマ「県北拠点づくり」に紐付く主要事業や新規事業の内容、それぞれの予算について伺います。 (6) 追加テーマに関する事業「若者・女性に選ばれる地域」に紐付く主要事業や新規事業の内容、それぞれの予算について伺います。 (7) 新規・拡充事業「令和6年度当初予算の事業内容との比較で新規・拡充となる事業」の主な内容・それぞれの予算について伺います。 (8) 財源確保の手段の一つである「ふるさと納税」、「企業版ふるさと納税」の実績と今後の見通し、課題があれば伺います。 令和6年1月1日能登半島地震において、最大14万戸が断水するなど上下水道施設の甚大な被害が発生しました。今でも復旧に時間を要している状況であります。これをきっかけに、本市においても国土交通省の方針に基づき「上下水道耐震化計画」の策定をすることとなっております。また、令和7年1月28日、埼玉県八潮市において下水道管の破損が原因といわれている道路陥没事故が発生しました。2月1日下野新聞の記事によると栃木県管理の下水道管を総点検することを決めたとありました。一部市町でも点検する動きが出ているともあります。 また、平成30年にマンホール蓋の老朽化対応について質問いたしました。こちらについても国の定める標準耐用年数を過ぎて老朽化の恐れがあるものが多いと思うことから以下の点について伺います。
--------------------------------------	---

	(1) 那須塩原市における上下水道の耐震化の現状と課題、今後の計画について伺います。 (2) 那須塩原市におけるマンホール蓋の現状及び今後の更新に対する考えを伺います。
--	--